

# 山崎種二 ー相場の神様ー 関連資料リスト

図書館講座「郷土にかがやくひとびとー昭和編ー」

第5回 平成24年2月9日(木)「山崎種二 ー相場の神様ー」と連動し、  
本館所蔵の山崎種二関連資料の一部を展示します。

展示期間：平成23年12月14日～平成24年2月17日

群馬県立図書館 調査相談室

**山崎種二略歴** 明治26年(1893)～昭和58年(1983) 実業家

多野郡吉井町坂口(現高崎市)生まれ。七日市藩士から帰農し苗字帯刀を許された旧家だが、出生の頃は家運が傾き、生糸相場もやっていた祖父兵衛は、「考え五両、働き一両」の教えと共に種二に家の再興を託す。15歳で父の従兄、山崎繁次郎が営む回米問屋の小僧として上京。堅実な商売を生涯の見本とし、厳しい指導の中、人一倍の節制と努力で頭角を現す。修業時代から米相場を経験。成功のタネは苦境で芽生え、失敗は有頂天から原因が生ずることを体得する。確氷社を設立した萩原鐮太郎の孫娘ふうと結婚。31歳で深川に回米問屋山崎種二商店を開業し独立。自分の足で現場を廻り、直接目で確かめる的確な情勢判断と固いソロバンで成功を収め、「売りの山種」の異名をとる。軍事色が強まり米穀統制の始まる昭和初期、株式相場に転身し、42歳で兜町に進出。経験に裏打ちされた、先を読み機を見る才覚で山種証券の基盤を築く。「信は万事の本を為す」を経営理念とし、お金は使う時と使い方が大事という信念のもと、ムダを嫌い堅実な積み上げで浮沈の激しい相場の世界を生き抜き、「相場の神様」と呼ばれた。横山大観等との親交も深く、昭和41年、現代日本画専門の山種美術館を設立。速水御舟、奥村土牛等国内有数の日本画コレクションを誇る。郷里の図書館、美術館、公共事業などにも多額の私財を投じ、発展に寄与している。

【図書】(書名 著者名 出版者 出版年 請求記号 貸出用有に○)

『わが人生論 青少年へ贈る言葉』 群馬編 中村輝雄編 文教図書出版 1981.1 K159 ト7X (1)  
p.296-299 人生の極意 山種証券株式会社取締役会長 山崎種二

『多野藤岡地方誌』 各説編 多野藤岡地方誌編集委員会編 多野藤岡地方誌編集委員会 1976 K260 Ta89.1 (2) ○

『吉井町誌』 吉井町誌編さん委員会編 吉井町誌編さん委員会 1974 K261 Y88 ○

『現代人物素描事典』 別巻 ドキュメント人と業績大事典 大空社 2002 281.03R ㊦2Y  
(1) p.505、(2) p.374 山崎種二

『日本近現代人物履歴事典』 秦郁彦編 東京大学出版会 2002 281.03R ㊦25 p.544 山崎種二

『「男の生き方」四〇選』 上 城山三郎編 文芸春秋 1991.4 281.04 ナ14 (1) ○  
p.260-276 “ケチ種”かく戦えり 山崎種二

『勝負師鬼才奇人事典』 祖田 浩一編 東京堂出版 1994.3 281.04 ナ43 ○  
p.282-287 “買い”よりも“売り”で儲ける方が値打ちがある」売りの山種 山崎種二

『私の履歴書』 経済人 1 五島 慶太[ほか著] 日本経済新聞社 1980.6 281.08 ト14 (1) ○  
p.257-294 山崎種二(山崎証券社長ー掲載時)

『郷土歴史人物事典群馬』 萩原進著 第一法規 1978.1 K281.3 H14 ○ p.213 山崎種二

『上州の顔 歳時記』 [東京新聞編] 東京新聞前橋支局 1981.12 K281.3 ト1Z ○ p.222 山崎種二

『群馬県人名大事典』 [上毛新聞社編] 上毛新聞社 1982.11 K281.3 ト2Y ○ p.548 山崎種二

『山崎家と萩原家』 鷺津勲著 山種総合研究所 1995.7 K288 Y48 ナ57

『そろばん』 山崎種二[著] 日本経済新聞社 1972.9 K289.61 Y48 テ29

『名誉町民故山崎種二翁を偲ぶ』 山種証券編 吉井町 1983.9 K289.61 Y48 ト39 ○

『山種証券50史話』 山種証券五十史話編集委員会編 山種証券 1984.4 K289.61 Y48 ト44 ○

『相場の偉人・山崎種二伝』 筆内幸子著 善本社 1985.8 K289.61 Y48 ト58 ○

『山崎種二 その生涯と事業』 尾崎芳雄著 山種グループ記念出版会 1988.7 K289.61 Y48 ト97

『百戦百勝 働き一両考え五両』 城山三郎[著] 日本経済新聞社 1979 K289.61 Y48 ○  
“相場の神様”といわれた山崎種二をモデルにした小説

『日本の実業家 近代日本を創った経済人伝記目録』 日本工業倶楽部編 日外アソシエーツ 2003.7 332.8R ㊦37  
p.311-312 山崎種二

『近代日本の創業者100人』(ビッグマンスペシャル) 世界文化社 2011 332.8 ㊦19 ○ p.76 山崎種二

『新・財界人列伝 光と影』 厚田 昌範著 読売新聞社 1992.1 335 ナ21 ○  
p.201-216 兜町をゆるがした相場の異才 山崎種二

裏面へつづく

- 『**巨富を築いた36人の男たち**』 鳥羽 欽一郎著 実業之日本社 1989.11 335.1 ㊦Y ○  
p.195-201 山崎種二(山種証券) ソロバンと信念で虚業を生き抜いた相場師
- 『**私の財界昭和史**』 三鬼陽之助著 東洋経済新報社 1987.2 335.2 ㊦2 ○  
p.50-52 山崎種二氏と二・二六事件、p.53-54 「相場の神様の洗脳」で赤恥をかく
- 『**閨閥 日本のニュー・エスタブリッシュメント**』 佐藤朝泰著 立風書房 1987 361.3 ㊦4 ○  
p.3409-418 山崎家「売りの山種」が先物買いでつくった華麗な閨閥
- 『**日本市場史 米・商品・証券の歩み**』 山種グループ記念出版会 1989.7 672.1 ㊦7 ○  
p.256,285,316,319,507,603,604,625,638に山崎関連の記述あり
- 『**相場師列伝 株界で生命を燃やす男8人の物語**』 東洋経済編 東洋経済新報社 1979 676.3 ㊦44  
p.1-35 第1部 山崎種二—百戦百勝男の虚像と実像— 豊田隆介
- 『**群馬県立近代美術館開館記念展**』 群馬県立近代美術館 1974.1 K706.9 G94.2 2 ○
- 『**近代日本画秀作展 山種美術館所蔵品による**』 群馬県立近代美術館 1975.10序 K706.9 ㊦5X ○
- 『**近代日本画の女性美展 山種美術館所蔵**』 群馬県立近代美術館 1977.9序 K706.9 ㊦79 ○
- 『**屏風絵名品展 山種美術館所蔵**』 群馬県立近代美術館 1978.5序 K706.9 ㊦85 ○
- 『**山種美術館所蔵作品による日本画の四季**』 群馬県立近代美術館 1981.1 K706.9 ㊦1X ○
- 『**墨絵の美 山種美術館所蔵作品による**』 群馬県立近代美術館 1982.1 K706.9 ㊦2X ○
- 『**近代日本画と山種美術館**』 朝日・美術館風土記シリーズ 朝日新聞社 1983.2 706.9 ㊦32 ○
- 『**近代日本画名作展 山種美術館所蔵作品による**』 群馬県立近代美術館 1983.1 K706.9 ㊦3X ○
- 『**米界資料**』 山崎繁次郎商店編 東京 山崎繁次郎商店 1914 S-05134  
種二の修業した廻米問屋「山崎繁次郎商店」発行の、米界に関する各種統計資料

## 【雑誌】

- 『**ミセス**』 2009年11月号 No.658 文化出版局  
p.128-129 山種美術館、p.130-131 “相場の神様”と近代日本画
- 『**芸術新潮**』 第27巻第9号第321号 1976年9月 新潮社  
p.102-107 戦後美術品移動史(45) 山種美術館と山崎種二の蒐集(Ⅰ) 田中日佐夫
- 『**芸術新潮**』 第27巻第10号第322号 1976年10月 新潮社  
p.102-107 戦後美術品移動史(46) 山種美術館と山崎種二の蒐集(Ⅱ) 田中日佐夫

## 【新聞】

### 上毛新聞 平成21年(2009) 「山河遙か 上州・先人の軌跡」 第8部 山崎種二

1月13日 (1) 米穀取引学び証券へ 「相場の神様」堅実貫く、 1月14日 (2) 田で培った相場師の目、  
1月15日 (3) 「考え五両」奉公で実践、1月16日 (4) 堂島の古米取引で脚光、1月18日 (5) 哲学貫き仕手戦に勝利、  
1月19日 (6) 郷里の商業高生を登用、1月20日 (7) 好きな日本画で美術館、1月23日 (8) 預金運用でも大観支援、  
1月24日 (9) 私財投じ女学校再建、1月25日 (10) 熱海の象徴整備に貢献、1月27日 (11) 内助の功に感謝の涙、  
1月28日 (12) 古里の教育文化に私財、2月7日 (番外編) 商売の礎教えた恩師 奉公先の主人、山崎繁次郎、  
交流 種二が初代理事長 都内の学園生徒吉井で体験学習、交友 財界に人脈子供たちも、堅実経営貫いた相場師

## 【インターネット情報資源】

- 山崎種二** (Wikipedia)  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B1%B1%E5%B4%8E%E7%A8%AE%E4%BA%8C>
- 山崎種二** (歴史が眠る多磨霊園)  
[http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/Y/yamazaki\\_ta.html](http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/Y/yamazaki_ta.html)
- 株式会社ヤマトネ** (Wikipedia)  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A4%E3%83%9E%E3%82%BF%E3%83%8D>
- 山種美術館** (山種美術館)  
<http://www.yamatane-museum.jp/>